



新エネルギー・産業技術総合
開発機構 NEDO 理事長賞受賞



生成AI利活用セミナー in 北海道

生成AIによる ビジネス、学び、 くらしの変革

AWL株式会社
2025年 1月

はじめまして

CHAPTER

01

はじめまして、Mina Tsuchidaです。



AWL株式会社 人事最高責任者(CHRO)
上席執行役員



STARTUP HOKKAIDO実行委員会 委員長



タイ、オーストラリア育ち。

北海道大学卒業後、



松下電器産業(株)(現パナソニック)に入社、
半導体事業で、10年以上の人事・マネジメント経験。
2013年より米国シリコンバレーにて専業主婦。

地域活動～新規事業開発・PRへ発展。

帰国後、2017年よりAI TOKYO LAB株式会社(現AWL)の
札幌拠点の立ち上げ、グローバル人事・広報・
事業開発を牽引し、現在のGLOBAWLカルチャーを築く。
大学生と小学生の母。

北大発スタートアップAWL（アウル）について

会社名	AWL株式会社（アウル株式会社）	 HOKKAIDO UNIVERSITY STARTUP	
設立年月	2016年6月		
代表取締役社長	北出 宗治 代表取締役社長 兼 CEO (Founder)		
主な経営陣	土田 安紘	取締役CTO	
	川村 秀憲 Biplab Banerjee	北海道大学教授 上級技術顧問 (Founder) IIT Bombay Associate Professor 技術顧問	
主な株主	経営陣、サツドラHD、楽天キャピタル、セーフィー、キャノンマーケティングジャパン 他		
資本金	1億円（連結）		
従業員数	76名（グローバル連結 /2024年 11月現在）		
拠点	東京・札幌 二本社制 ベトナム・ハノイ、インド・バンガロール		

Globalization & Localization



従業員の国籍

約**20**カ国 Nationalities

北海道 Hokkaido

年齢・国籍・性別・価値観等
多様なバックグラウンドの
メンバーが活躍

世界中から優秀な人材が
集結する開発体制

従業員外国人比率 **50%**

エンジニア外国人比率 **93%**

- 共同研究
インドNo.1 IIT Bombay AI研究室
東北大学2研究室
- タイ、バンラディッシュトップ校連携
- インドネシア公立大学 国際連携支援



事業内容

北海道の地元小売業「サツドラ」と連携し、研究を重ね
防犯カメラ等の映像を個人情報保存せずに分析するサービスを提供



労働力不足を解消し、
店舗体験を最大化

AWLの導入実績

Pioneering Edge AI Video Analytics

リアル空間のデータ化、「映像解析」導入実績No.1で業界をリード

エッジAIカメラ設置箇所

10,000+

エッジAIカメラ稼働台数

15,000+

- AWLの技術を採用する企業 -

Rakuten

nVIDIA.

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

Microsoft

CyberAgent.

Qualcomm

safie

SONY

TOPPAN

他、多数

リアル空間のデジタル化によるイノベーション



リテール業界からはじめ、
あらゆる現場へ

店舗内をリアルタイムにデータ化し、 生産性向上、DXを推進

売上アップ、コスト（ロス）削減、
リスク低減、省人化等に貢献



体験向上 CX

体験向上による売上の最大化
+
新たなビジネスモデルの創(広告等)

生産性向上 DX

業務の効率化、省人化
+
AIを活用した高度化



安心・安全 Security

業務の効率化、省人化
+
AIを活用した高度化

AWL Key Highlights

1

大学発ベンチャー表彰 NEDO理事長賞

8/22 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催する「大学発ベンチャー表彰2024」において「新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞」を受賞



2

クアルコムと協業開始 AIエコシステム拡大 市場をリード

クアルコムテクノロジー社とのISV契約の締結を通して、AWLのエッジAI技術がSnapdragon®プロセッサに搭載され、リテール業界を中心に世界中での活用が進み、AI/IoTエコシステムの拡大に期待



3

NVIDIAとの強固な連携 AWL Engineのグローバル展開へ

NVIDIAのパートナーシップ (Inception, Metropolis) をはじめ、AWLのエッジAI技術がNVIDIAのプラットフォームにより、リテール業界を中核にグローバルに革新的な活用が進行中
2024/3米カリフォルニアGTC2024登壇・出展に続き、9月18日、11/12に日本でのNVIDIAイベントAI SUMMIT JAPANに登壇



生成AIとは？

CHAPTER

02

**生成AI（Generative AI）は、
新しいコンテンツを自動的に作り出す人工知能の技術
例えば、文章や画像、音声などを生成することができる
大量のデータを学習し、そのデータに基づいて
新しいものを作り出す能力を持っている**

**生成AIは、ディープラーニング（深層学習）という技術を用いて、
学習したデータからパターンを見つけ出し、新しい情報を導き出すことができる
生成AIの代表的な例としては、ChatGPTやMidjourneyなどがある
これらのツールは、テキスト生成や画像生成に特化しており、
ビジネスや日常生活での利用が広がっている**

**2022年にはOpenAI社が対話型生成AIのChatGPTを
リリースし、生成AIの普及が一気に進んだ
2024年には企業での活用が進み、現在のブームに**

**1950年代にアラン・チューリングが提唱した「チューリングテスト」に始まり、
1980年代にオートエンコーダーが登場
2014年には敵対的生成ネットワーク（GAN）が開発され、
2017年にはトランスフォーマーモデルが誕生**

生成AI「プロンプト」とは？

生成AIのプロンプトとは、生成AIに対して与える指示や質問プロンプトの内容がAIの生成する結果に直接影響を与えるため、効果的なプロンプトを作成することが重要

**例えば、ChatGPTに質問する文章もプロンプトといえるプロンプトの質によって、AIが回答する内容が大きく変わる
具体的に明確な指示を与えることが求められる**

プロンプトエンジニアリングとは、AIに対してプロンプトを与えその結果を最大限に活用するための技術や工夫のことを指す

生成AIで遊んでみる

CHAPTER

03

本イベント 主題歌・歌詞をCopilotでつくる

「生成AI利活用セミナー in 北海道 -新たな学びの可能性を創る-」のイベントの主旨は以下です。「北海道総合通信局（局長 高田 義久（たかだ よしひさ））は、北海道テレコム懇談会（会長 山本 強（やまもとつよし）（北海道大学 名誉教授））との共催により、「生成AI利活用セミナー in 北海道 -新たな学びの可能性を創る-」を開催します。本セミナーでは、生成AIをより身近なものと捉え、安心安全に利活用してもらうことを目的として、教育関係の生成AIに関する先進的な取組をしている方々にご講演をいただきます。」このイベントの主題歌の歌詞を作ってください。

もちろんです！「生成AI利活用セミナー in 北海道」の主題歌の歌詞を作成いたします。

生成AIの未来へ

1. 北の大地に集いし者よ
新たな学びの扉を開け
生成AIの力を信じて
未来を共に創り出そう

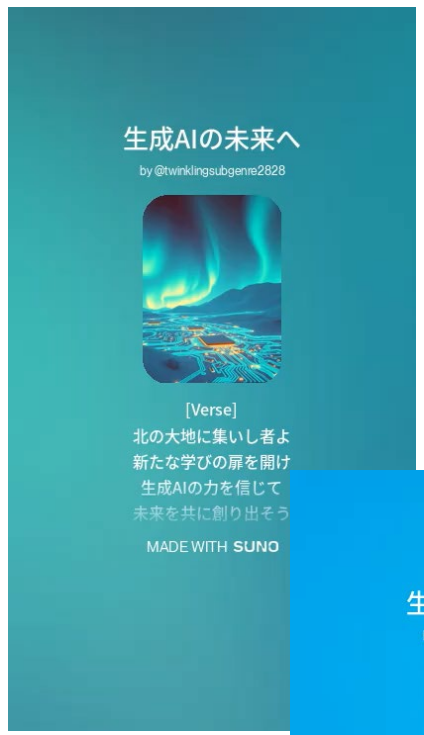
（サビ）

生成AI、希望の光
安心安全、未来を照らす
北海道の風に乗せて
新たな時代を切り拓こう

2. 教育の現場に響く声
先進の技術で夢を描く

本イベント主題歌をSUNOで演奏、Runwayでプロモーションビデオ

「生成AIの未来へ」というタイトルの曲の歌詞は以下
 「北の大地に集いし者よ
 新たな学びの扉を開け
 生成AIの力を信じて
 未来を共に創り出そう」
 サビは以下
 「生成AI、希望の光
 安心安全、未来を照らす
 北海道の風に乗せて
 新たな時代を切り拓こう」
 KPOP風に演奏してください。



ビジネスの現場では？

CHAPTER

04

人事業務

AWLで1年勤務する正社員です。2月1日に結婚します。慶弔休暇は何日ありますか？

AWL株式会社の就業規則によると、正社員が結婚する場合、慶弔休暇として5日間の休暇を取得することができます^①。この休暇は一括で取得する必要があり、結婚式やハネムーンなどに利用することが推奨されています^②。

インドに出張をするためにVISAを取る必要があります。必要書類の招聘状の雛形案をください。

インド出張のためのVISA申請に必要な招聘状の雛形案を以下に示します。この雛形を参考にして、必要な情報を記入してください。

LETTER OF INVITATION FOR BUSINESS PURPOSE

Date: [発効日]

To: [インド大使館/領事館の名前]

Dear Sirs,

We wish to invite [ビザ申請者氏名], a Japanese National, who is [ビザ申請者役職], [ビザ申請者部署名] at [ビザ申請者会社名] to India for the purpose of having business meetings with us about [MTGの内容] from [インド滞在開始日] to [インド滞在終了日]. Since they will be visiting India frequently in the future, we would be

広報業務

「生成AI利活用セミナー in 北海道」にAWLの土田美那が登壇します。プレスリリース文案を作成してください。

もちろんです！以下にプレスリリース文案を作成しました。

プレスリリース

「生成AI利活用セミナー in 北海道」にAWLの土田 美那が登壇

北海道総合通信局（局長 高田 義久）と北海道テレコム懇談会（会長 山本 強）は、共同で「生成AI利活用セミナー in 北海道 –新たな学びの可能性を創る–」を開催いたします。本セミナーでは、生成AIをより身近なものとして捉え、安心安全に利活用してもらうことを目的として、教育関係の生成AIに関する先進的な取組をしていく方々に講演をいただきます。

これまでのAWLのPR TIMESと同様の書式に編集してください。

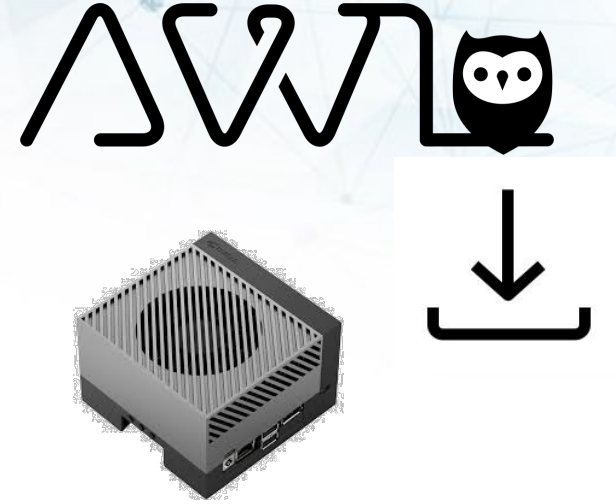
もちろんです。以下に「生成AI利活用セミナー in 北海道」のプレスリリース文案を、AWLのPR TIMESと同様の書式で作成しました。

プレスリリース

AWL 株式会社の上田 美那が「生成AI利活用セミナー in 北海道」に登壇

AWLのソリューション

防犯カメラ等の映像を個人情報情報を保存せずに分析する
サービスを提供



エッジAIで現場の課題を解決する利点：
リアルタイム、低エネルギー、低コスト、プライバシー保護

研究開発中のソリューション

カメラでやりたいことを入力したら自動設定や設置アシストする

Problems
Purpose
Requirements
Timeline

User
Location
Type of Analysis
Type of Data

Budget
Output



教育の現場では？

CHAPTER

05

AI時代の教育とは？

今後不要になる可能性があるスキル：

- ・ **単純作業のスキル**：AIに代替される可能性が高い
- ・ **記憶力重視の学習**：AIが情報を瞬時に提供できる

求められるスキル

- ・ **批判的思考**：
AIが提供する情報を鵜呑みにせず、自分で考え判断する力
- ・ **創造力とイノベーション**：新しいアイデアや価値を生み出す力
- ・ **コミュニケーション能力**：共感やコミュニケーション能力
- ・ **データリテラシー**：データを理解し、活用する能力
データの収集・整理・分析・解釈を正確に行うスキル
- ・ **テクノロジーの活用能力**

- 特定のルールや制約のもとで強みを発揮するが、枠を超えた革新的なアイデアを生み出すことは難しい
生成AIを利用する際には、人間の監督や補完が必要
- 生成AIが生成するコンテンツが誤解を招いたり、偏見を助長したりしないように、コンテンツを慎重に評価する
- 生成AIを利用する際には、プライバシーやセキュリティにも注意が必要
- 最後に、生成AIを利用する際には、倫理的な観点からも注意が必要

AWLのエッジAI研修について

エッジAI開発技術 & アプリケーション開発 を現場最前線で活躍するエンジニアから学ぶ

～これから求められるのは「エッジ化」や「実装力」～

ハンズオンで学生たちも実際にカメラと最新のエッジデバイスを用い、
高度なAI映像解析技術をハードウェアに実装する実践型カリキュラムでバイリンガル対応も可能



**Top Class
AI/IoT Technology**

高いAI/IoT技術力

業界トップクラスのAI/IoT人材
IITB等世界TOP校、大手電機メーカー・SI



**Deploy & Operation
from JPN Retail**

豊富な導入・運用実績

スーパー、ドラッグストア、コンビニ
から多業界へ



**One Stop
Solution Service**

**コンサルティング～開発
一貫通貫の実現体制**

国内外の教育機関、トップ校に注目のAI/IoT、エッジAI映像解析技術、リアル現場への実装をテーマに教育プログラムを提供中



IIT Bombay

AWL×NEDO×IIT Bombay
インド工科大最高峰ボンベイ校にて
＜研修+ハッカソン＞型カリキュラム実施



北大・小樽商大等

北海道大学「創造的人材育成特別講義」、
「SUMMER SCHOOL」
小樽商大ビジネススクールにて
半日コースをご好評いただいております！



インドネシア公立大

AWL×経産省AOTS国庫補助事業
インドネシア・タドウラコ大学にて
大学単位認定講座開設

まずは、使って楽しんでみよう～

More than your Eyes Can See...



技術は本来楽しいものである

技術の進化や新しい発見は、未知との遭遇や新しい挑戦を提供する
ワクワク感や大きな喜びとなる



Thank You!